

# 全ての住宅に住宅用火災警報器を

火災警報器をどうして設置するのでしょう

これまで日本では、共同住宅などの一部の住宅だけ設置が義務化されてきました。そのため、一般の住宅や小さなアパートではほとんど取り付けられていませんでしたが、平成16年6月に消防法の改正により、一般の住宅にも設置が必要となりました。新築の住宅では平成18年6月から既に設置され、既存の住宅も平成23年5月までに設置しなければなりません。

火災警報器の設置の背景には、住宅の火災で死亡する人が毎年1,000人以上になり増加の傾向にあったことや、亡くなった方のおよそ6割が高齢者で、夜間就寝中の火災によるものが非常に多いことがあります。そこで、火災警報器の設置により特に就寝中に早く火災を知ること、避難ができるよう考えられたものです。

国内で既に火災警報器が設置してあった住宅での火災は、そうでない場合と比べ約3分の1の死者となっています。火災による被害から身を守るためにも早期に設置するようにしましょう。

## 火災警報器はどこに設置するの？

取付場所は、一般的な住宅ではイラストのとおり寝室や階段となっています。詳しいことは消防署におたずねください。

## 購入や取付時の注意点は

家電販売店、防災設備等の取扱店、ホームセンターで購入することができ、自分で取り付けることができですが、購入の際にはNSマークがついたものを選びましょう。

また、消火器と同じように悪質な販売が多発しています。消防署員が直接販売することはありません。異常に高い値段のものを売りつけられないよう注意しましょう。

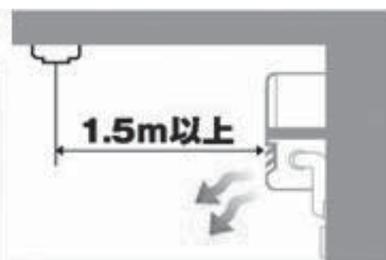
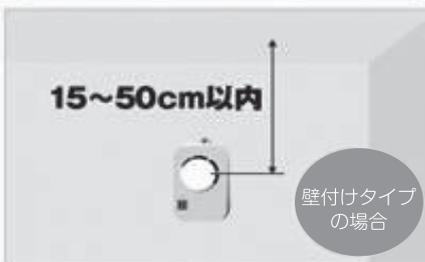


● 取付が義務付けられているところ  
○ 取付をお勧めするところ

天井へつけるときは、ここに注意。



壁の取り付けはここがポイント。



注意：エアコンや換気扇の吹き出し口付近では、1.5m以上離しましょう

問合せ先

美祢市消防本部予防課

☎08337522286

## 男女共同参画計画「美祢市男女共同参画しあわせプラン」に係る意見を募集しています

市では、「美祢市男女共同参画しあわせプラン」の策定を進めています。現在、美祢市パブリックコメント制度に基づき、事前にプラン（案）の内容を公表し、市民の皆さんから意見や提案の募集を行っています。

次のとおり募集を行っていますので、皆さんの意見をお寄せください。

◆意見を募集する内容  
『美祢市男女共同参画しあわせプラン』（案）について

◆対象 市内に住所を有する人、市内の事務所・事業所に勤務する人、市内の学校に在学する人、市に納税義務を有する人など

◆期間 10月30日（金）まで

◆資料公表場所

市企画政策課、各総合支所総務課、各出張所・公民館、市ホームページ

※意見提出用紙は、資料公表場所及び市ホームページに設置しています。

◆提出方法 持参、郵送、FAX、Eメール

◆問合せ先 市企画政策課 ☎08371112・FAX08375319  
59・Eメール seisaku@city.nine.g.jp

パブリックコメントとは？

市の政策（条例や計画）等を決める際、市民の皆さんからの意見等を募集し、それに対する市の考え方を公表する一連の手続きをいいます。

# 平成21年度 社会を明るくする運動 最優秀作品の紹介

7月は、社会を明るくする運動、強調月間でした。この行事の一環として、児童・生徒の皆さんへ標語・作文の作品を募集したところ、多くの作品が寄せられました。

厳正な審査を行い、受賞作品が決定しましたので、最優秀賞を受賞した作品を紹介します（敬称略）。

## 【標語の部】

広げよう やさしい心 明るいあじわい

伊佐小学校 5年 志賀 千優

手をつなぎ 一緒につくる未来

秋芳北中学校 3年 阿武 香織

## 【作文の部】

「今、あなたに伝えたいこと」

大嶺中学校 2年 中嶋 和純

「今、あなたに伝えたいこと」

大嶺中学校2年

中嶋 和純

今、テレビでニュースになっていて、覚せい剤使用事件。私は毎回こうだった覚せい剤のニュースを見るたびに、なぜこんなことになってしまったのだろう・・・と少し悲しい気持ちと、どうして

こんなものに手を出したんだという怒りが心の中をめぐる。

最近覚せい剤所持や使用が増えている。増えるばかりで減らない薬物事件。ある物理学者が「人間というものはわずかな薬物によって支配されるあわれな存在である」と残している。薬物は人の手から

人の手へと次々渡って広まっていく。では、これを止めることはできないのだろうか。

今一番有名になっている、ある女優さんの覚せい剤所持・使用事件。私はそのニュースをきいたとき、すごくビツクリした。私はその女優さんのことを「おだやかな人だな」と思い込んでいた。それが今回のニュースで、イメージが真反対になってしまった。その人の夫まで覚せい剤所持・使用という夫婦そろって薬物にやられてしまっている。信じられない・・・。

なぜ、薬物というそんなものに頼ってしまうのか。薬物を使用しても、最終的には自分の心と体がボロボロになるだけで、なにも良いことはないのに。

彼女は、薬物を夫に勧められたとき、どんなことを思ったのか。軽い気持ちで薬物を乱用しようとしたのか。やめようとおもえば、すぐにやめられると思っただろうか。そして今の彼女は何を思うのか。後悔しているのだろうか。彼女には、薬物の誘惑に打ち勝つ強い心を持っていてほしい。

私は、学校の教科書やテレビで薬物を乱用してしまった人のことを見たことがある。体のいろいろな部分がむしば

まれていったその姿は、かわいそうというよりも、ひどく悲しい姿といえる。薬物を乱用し続けたことで、その人は以前できていたことがだんだんできなくなっていく、変な行動をとるようになる。失うものばかりで、得られるものは何もない。こうなってしまつては、もう後悔しか残らないだろう。

それに、薬物乱用をした本人だけが苦しいのではない。周りには必ず、あなたのことを心配する人がいる。家族、友達、先生・・・。とくに家族は一番心配するだろう。自分の子どもが薬物乱用していると知ったら、どう思うだろう。また自分の親が、薬物乱用をしていると知ったら、どう思うだろう。なぜ？と思うかもしれない。そんな・・・と絶望するかもしれない。どちらにしても、「良かった」と安心したりするはずがない。少しずつむしばまれていく姿を見るのは誰だつてつらいはずだ。私でさえも薬物にむしばまれた他人の姿を見たときは、すごくつらかった。なんでこんなことになってしまったのだろうか・・・。この人は最初に、「薬物なんか使用したらダメだ」と自分に言いかけ、止めることはできなかったのだろうか。

か・・・と。

私は薬物を乱用してしまつた人の気持ちは、正直言つて分らない。でも、一つだけお願いがある。それは、もしもあなたが薬物に手をのびしそうになったら、一度でいいから、自分の身の回りの人のことを考えてみてほしい。自分分は、たつた一人の力で生きているのではない。周りのいろいろな人に支えられて、生きていく。その自分を支えてくれている人たちの気持ちも考えてみてほしい。そうすれば、少しは自分の大切さが分かるのではないだろうか。

薬物の恐ろしいところ。それは、やめようとしてもやめられなくなる。でも、そこで「もうダメだ」とあきらめてしまふことが一番危ない。今となつては、大人までもがその薬物におかされている。だから、まだ薬物に直接関わっていない子ども私たちが、今からしっかりしなければならぬ。そして、私たちがみな一人ひとり、薬物の誘惑に打ち勝つ強い心をつかり持てれば、薬物のない明るい未来が見えてくるだろう。今からでも遅くない。私はそう思う。あなたという存在はあなただけのものではない。それを今、全てのあなたに届けたい。